

VI 現職教育計画

1 学校研究主題

伝え合うことを楽しむ和倉っ子を目指して ～対話のある授業づくりを通して～

2 学校研究主題設定の理由

昨年度は「伝える力」「表現する力」の向上を目指して「和倉小授業スタイル」を構築し、実践してきた。特に国語科での取組を中心に、児童と目的意識や相手意識を共有し、伝えたい・やってみたいという児童の意欲や願いを引き出すことができるよう導入場面での工夫を行いながら、全校で共通実践をすることができた。また、自分の考えをいかに相手に伝えていくかについて、学び合いの仕方を模索しながら、「伝える力」「表現する力」を伸ばすべく授業改善に取り組んだ。

その結果、相手に伝えたい・伝えようという気持ちが高まった。そして、相手に自分の考えを書いて伝えたり、図や絵などを指し示しながら伝えたりするなど「伝える力」「表現する力」が定着しつつある。しかし、自分の考えを端的に書いて伝えること、相手の話を最後まで聞き受容するという点において、課題が見られた。

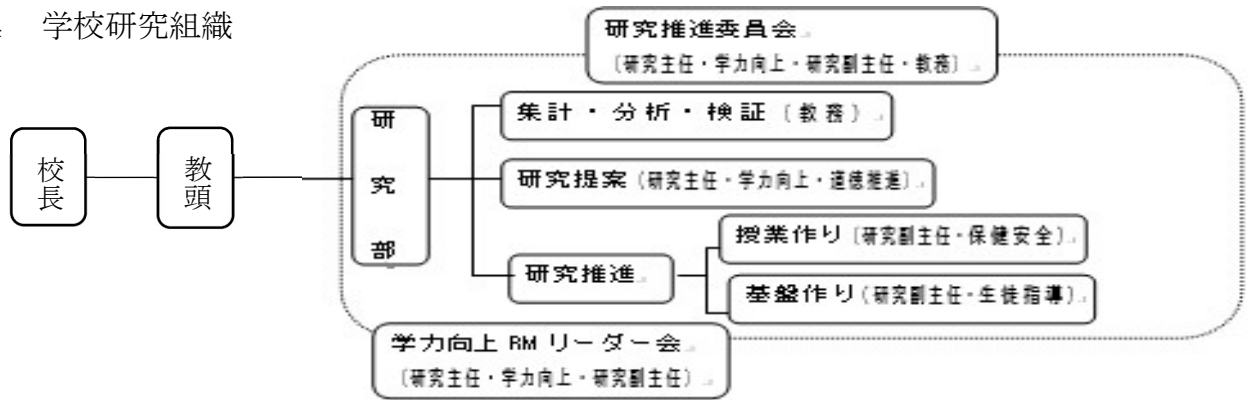
そこで今年度は、昨年度に引き続き「和倉小授業スタイル」を継続していくとともに、自分の考えを伝えるだけでなく、相手の考えを受容できる人間関係づくりを行っていく。全職員で和倉小授業スタイルの共通理解を図りながら、教科横断的な学習を充実させていくと共に、自分の思いや考えをもち相手によりよく伝えたり、相手の考えを受容して聞いたりすることのできる力の育成を目指す。そして、伝え合うことの楽しさやよさを味わえるような対話のある授業を目指し、授業改善に取り組んでいきたい。

3 児童に付けたい資質・能力／めざす児童像

資質・能力 自分の思いや考えをもち、相手によりよく伝えたり、相手の考えを受容して聞いたりすることのできる力の育成

- (1) 主体的に学びに取り組み、自分の考えを表現できる児童
- (2) 相手の考えを大切にし、生かすことができる児童
- (3) 自分の姿や変容をふり返ることができる児童

4 学校研究組織



- (1) 集計・分析・検証 — R C 学力調査・質問紙・検証結果等を分析し、授業改善に役立てる。
- (2) 研究提案 — P A 校内研究や学力向上に関わる取組等を提案する。
- (3) 研究推進 — D 研究提案チームのプランを実践し、進捗状況を確認する。

5 授業研究計画

〈重点項目及び取組内容〉

月	研究提案	研究推進	研究授業計画
	校内研修全体会 ・今年度の研究方針決定と共通理解 ・研究体制の確認 ・校内年間授業研究確認		
4	<ul style="list-style-type: none"> ・指導案形式提案 ・学力向上タイムスケジュール作成と提案 ・帯タイム計画作成実施 ・朝自習の計画作成実施 ・支援体制の立案実施 ・校内研修全体会・指導案形式決定 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の構え8項目の確認 ・ノート指導（漢字・算数） ・ミニ研修会 （学級経営，プログラミング，学習指導） ・家庭学習モデル作成・配布 ・自学のてびきの作成・配布 ・コミュニケーショントレーニング提案 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究授業計画立案 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> 校内研 30日 5年藤原（指導案検討）算数科 </div>
5	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上タイムスケジュール共通理解 ・授業スタイルの共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーショントレーニング 	
6	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬授業 ・支援体制の見直し ・模擬授業 ・授業整理会 	<ul style="list-style-type: none"> ・和倉検定強化期間 ・コミュニケーショントレーニング 	
7	<ul style="list-style-type: none"> ・帯タイムの見直し ・1学期のふり返り ・補充学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・和倉検定 ・和倉検定の復習期間 ・学習だより（和倉検定） ・コミュニケーショントレーニング 	
8	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修全体会 ・指導案検討会 ・補充学習 ・帯タイム改善策計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニ研修会 	

	・支援体制改善策計画		
9	・帯タイム改善策実施 ・支援体制改善策実施 ・指導案検討会 ・模擬授業 ・授業整理会	・学習の構え8項目の再確認 ・和倉っ子がんばりカード ・コミュニケーショントレーニング	学校訪問A 28日 3年吉川（指定）算数科
10	・支援の充実 ・指導案検討会 ・模擬授業 ・授業整理会 ・他校授業研究会参加促進 ・報告還流	・コミュニケーショントレーニング	
11	・指導案検討会 ・授業整理会 ・他校授業研究会参加促進 ・報告還流	・コミュニケーショントレーニング ・和倉検定強化期間	要請訪問（スマイルサポート） 20日 わかば遠藤 学活
12	・支援体制改善策計画 ・帯タイムの見直し補充学習 ・指導案検討会 ・模擬授業 ・授業整理会	・和倉検定 ・和倉検定の復習期間 ・コミュニケーショントレーニング	要請訪問 4日 1年島田 算数科
1	・帯タイム改善策計画・実施 ・支援体制改善策実施 ・支援の充実（3・5年） ・指導案検討会 ・模擬授業 ・授業整理会	・学習の構え8項目の確認 ・和倉っ子がんばりカード ・和倉検定 ・和倉検定の復習期間 ・コミュニケーショントレーニング	学校訪問C 26日 全員授業公開
2	・校内研修全体会（次年度に向けて） ・指導案検討会 ・模擬授業 ・授業整理会	・和倉検定強化期間 ・コミュニケーショントレーニング	要請訪問 10日 4年白根 国語科
3	・学校研究のふり返り ・来年度の計画 ・学力向上プランの見直し ・活用問題テスト実施	・和倉検定 ・和倉検定の復習期間 ・コミュニケーショントレーニング	

6 具体的な取組

(1) 授業研究

対話する力を高めるために

導入

学び合い

振り返り

① 見通しのもたせ方の工夫

- ・児童に考えをもたせるために、どのような教師の手立てが必要か。(教師が一方的に考え方を与え過ぎないように意識する)

② 自分の考えの伝え方の工夫

- ・活動に応じた学習形態を工夫
(ペア・グループ・意図的グルーピング・ワークショップ型など)
- ・学年に応じた自分の考えの伝え方・相手の考えの受容の工夫
(文・言葉・カード・表や図・絵・吹き出し・ノート交換・ホワイトボードなどの活用)

③ 振り返りの在り方

- ・伝え合った後の自分を見つめる。(個の振り返り)
- ・相手の話を聞いて、自分の考えと比較してどうだったか。

(2) 学力・学習の基盤づくり

① 学びの土台

★ 学習の構え 8 項目

学習の構えとして、「持ち物」「学習準備」「学習静止」「座り方」「ベル学」「授業はじめと終わりのあいさつ」「はいの返事」「挙手のしかた」の項目に、児童と教師が共通理解のもとに取り組む。

- ・学期スタートや節目に「わくらっ子学習の合言葉」として確認する。『目線 返事 ピタ・ピン・グー』を意識できるよう指導する。

② 読む力の育成

- ・音読の家庭学習（弾力的に）
- ・図書館司書と協力して並行読書の取組

③ 基礎・基本の確実な定着と活用力アップ

★ 基礎・基本の練習

- ・朝…算数（基本問題プリント，ドリル），読み聞かせと読書（水曜日の朝）
国語（一斉音読，言葉のきまり，漢字練習）

	月	火	水	木	金
朝自習 8:15～8:25	算数	国語	低読書／高新聞 読み聞かせ	算数	国語 (条件作文)
放課後	活用問題 再チャレンジ 基礎・基本の定着など				

★ 和倉検定

漢字・算数・ローマ字和倉検定に向け強化週間を設けて全校で学習に取り組み，検定を実施することで，学期ごとの基礎基本の学習内容の定着を図る。できるだけ全員の定着をめざす。

- ・ローマ字…6月・11月・2月の第1金曜日
- ・漢字 … ” 第3金曜日
- ・算数 …7月・12月・3月の第1金曜日

④ 家庭との連携

★ 家庭学習「宿題忘れ0」

全校的な「宿題忘れ0」への取組や家庭との連携等を通して，家庭学習の徹底を図る。

- ・連絡帳や生活ノートの活用

★ 家庭学習の充実

- ・毎日の家庭学習に組み入れる。
 - ①音読
 - ②教科の課題（クラスの課題）

*今年度は，自主的に自学に取り組む姿勢を促していく。

★ 音読の家庭学習

毎日，音読を家庭学習として出し，保護者に音読カードに印をつけてもらう。

《学校教育目標》

自ら学び共によりよく生きようとする児童の育成

《研究主題》

**伝え合うことを楽しむ和倉っ子を目指して
～対話のある授業づくりを通して～**

〈めざす児童像〉

- (1) 主体的に学びに取り組み、自分の考えを表現できる児童
- (2) 相手の考えを大切にし、生かすことができる児童
- (3) 自分の姿や変容を振り返ることができる児童

見通しのもたせ方

- ・ 導入場面の工夫
- ・ 見通しのもたせるための教師の手立て

対話のある授業づくり

- ★深い学びに向かうための「問い」「見取り」「問い返し」
- ★カリキュラムマネジメント

振り返りの在り方

- ・ まとめや振り返りの工夫
- ・ 授業前後の変容



学び合い

- ・ 相手意識、目的意識
- ・ 学習形態の工夫
- ・ 話し方⇄聞き方の工夫